

第3学年 重さ

1 単元 重さ (本時2 / 8)

2 本時の目標

重さを比べる活動を通して、物の重さを任意単位で表し、比較することができる。(思考・判断・表現)

3 展開

段階	児童の活動	教師の活動
導入 (5)	<p>1 前時の活動を思い出す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなものの重さを量ったね。 ・のりと鉛筆だとのりの方が重かったよ。 ・あんまり違いが分からない物もあったね。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に行った天秤を使った重さの直接比較を想起させ、今回も重さを比べることを意識づける。 ・前時と違い、本時は複数の物の重さを比べることを伝える。
課題 (2)	<p>2 本時の課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 重さのはかり方をくふうして、重い順にならべよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の課題を板書する。
展開 (33)	<p>3 個人で量り方を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・持っただけでは分からないね。 ・2つずつ比べたら分からないかな。 </div> <p>4 グループで意見を交換し、実際に量る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・2つずつ比べるとはさみ、のり、コンパス、鉛筆の順番になったよ。 ・もっとはっきりと分かる方法はないかな。 ・おはじきや1円玉で量ることはできないかな。 </div> <p>5 全体で意見の共有をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・のりはビー玉○個で、コンパスは△個だったから、のりの方が重いよ。 </div> <p>6 まとめる。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・重さは同じものがどこかであらわすことができる。 </div>	<p><主発問></p> <ul style="list-style-type: none"> ・重さの量り方をくふうして、重い順になるようにならべよう。 <p><個人思考の場></p> <ul style="list-style-type: none"> ・なかなか取り組めない児童には、まずは前時と同じように2つずつ比べるように促す。 <p><対話の場></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つずつで比較する活動を行ったグループには、そのやり方では手間がかかることを意識させ、もっと手間が少なくてすむ方法はないかを考えさせる。 ・使用できる物として、1円玉やビー玉などを多数用意しておき、気が付いた児童にはどう使えば重さを比べられるか考えられるように促す。 ・全体共有で、「1円玉の数で比べるとのりとコンパスはどちらが何枚分多い？」のように質問し、重さの違いを意識できるようにする。 <p><振り返りの場></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の授業で分かったこと、大切だと思ったことを書くように指示する。 ・任意単位での比較について記述している児童の意見を取り上げ、称賛する。
整理 (5)	<p>7 学習を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・重さをくらべるときは同じものがどこかで考えとくらべやすいことが分かった。 </div>	

4 評価

・物の重さを任意単位で表現し、比較することができたか。(活動3～7の発言、ワークシートの記述から)